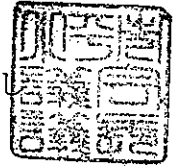




平議発第33号  
令和6年6月28日

小平市教育委員会  
教育長 青木 由美子 殿

小平市議会議長 松岡 あつし



### 文書質問書の送付について

このことについて、小平市議会基本条例第11条第1項の規定に基づき、別紙のとおり文書質問書が提出されましたので送付いたします。

なお、回答につきましては、令和6年7月12日までをお願いいたします。

令和6年6月28日

小平市議会議長 松岡 あつし 殿

会派名 政和会

会派代表者名 鈴木洋一

質問者名 鈴木洋一

文書質問書

小平市議会基本条例第11条第1項の規定により、次のとおり文書による質問をいたします。

1 質問項目

1、タブレット端末の持ち帰りや使用方法・運用について

- ①教育委員会としてタブレット端末機器の持ち帰りを許可しているが、タブレット端末機器が持ち帰りできている学校とできていない市立小・中学校の学校別の内訳を示してください。
- ②今年よりタブレット端末の持ち帰りが市内全校で行われるようになったということだが、宿題がタブレット端末で出されていない学校の児童、生徒もしくは、宿題がタブレット端末と紙の両方で出ているパターンでは、紙（冊子）のドリルとタブレット端末を共に持ち帰る必要が生じており、ランドセルが非常に重たい状況にある。市立小・中学校のタブレット端末を活用した宿題はどの程度行われているか。
- ③紙（冊子）で宿題を出し、かつタブレット端末の持ち帰りをすることを保護者へ連絡などを行う場合、保護者及び児童、生徒に説明は行っているか。その対応にどのように納得を得ているのか。市の見解は。
- ④小・中学校進学時に、各学校へのタブレット端末の必要数配置とアカウント設定は入学までに済んでいるか。
- ⑤タブレット端末の持ち帰りを許可しているが、サイトの閲覧制限や使用時間の制限は行っているのか。また、その設定は市教育委員会が行うのか。各学校で行うのか。
- ⑥タブレット端末が故障した場合その状況によっては保護者負担を周知している学校があるが、それは教育委員会の指示か。実際に保護者負担となったケースがあるのか。
- ⑦タブレット端末故障時には自賠償保険等保険の対応は可能か。
- ⑧タブレット端末は現在貸与であるが、中学校進学時のスムーズな移行のために今後付与を検討しているか。

2、デジタル教材の使用について

- ①全ての市立小・中学校において、授業支援システムを取り入れ、授業の中で動画やスライド等のAIドリルを含むデジタル教材を活用していると令和5年12月定例会で議会答弁が、あったが現状利活用がどこまで進められているのか。
- ②デジタル教科書が市内で使えている学校がある中、令和6年5月現在市立小・中学校では児童・生徒が使用できない事象が発生しているとのことだが事実か。また4月からデジタル教科書が使用できていない小・中学校の別の内訳を示してください。
- ③教育の機会均等の面から鑑みて、デジタル教科書の使用機会が奪われている点について教育委員会とし

てどのような認識があるか。

- ④来年度は遅滞なく4月中に導入できるよう実施することは可能か。
- ⑤デジタル教材の導入を含め、ICT化には専門的な知識を要するが、その対応を教育委員会ではどのように考えているか。教員の働き方改革が求められる中、その負担を各校に任せているのか。
- ⑥今後、専門家を各学校に派遣して市立小・中学校のICT化の推進を検討しているか。

### 3、スタディサプリについて

- ①スタディサプリは全ての市立小・中学校が利用可能という理解でよいか。
- ②スタディサプリの使用ができていない状況の家庭があるようである。令和6年5月現在市立小・中学校では児童・生徒が使用できない事象が発生しているとのことだが事実か。また4月からスタディサプリが使用できていない中学校はあるのか。あればその学校数を示してください。
- ③来年度は遅滞なく4月中に導入できるよう実施することは可能か。

### 4、オンライン授業について

- ①オンライン授業は全ての市立小・中学校が実施可能という理解でよいか。
- ②ある市立の中学校においては主要5科目については今年度既にオンライン授業の実施実績があるが、同様に市内全般でオンライン授業ができていない学校とできていない学校があるのではないかと。教育の機会均等の面に着目し市の見解は。

### 5、オンライン欠席届について

- ①オンラインでの欠席届については主にGoogleフォームからの申請がメインだと認識しているが市立小・中学校の全校でできているのか。
- ②小・中学校においてGoogleフォームから欠席届の申請ができていない学校の数の内訳を示してください。その他の申請方法があればその手法や使用しているツールについても示してください。
- ③市立小・中学校全校で実施ができていない場合全校で行うべきと考えるがどうか。

### 6、GIGAスクール構想の在り方について

- ①小平市教育委員会HPにある『GIGAスクール構想の実現に向けた計画を策定』では「<令和5年度>（目標）・小学校・中学校の全学年において各学級1日2回以上活用」とあるがこの目標の管理はどのようにしているのか。
- ②教育委員会としても提示するだけでなく目標が達成できているかの確認や指導は必要と思うが、目標に対しての結果、効果検証を示してください。
- ③そもそもこの目標については適切ではないと考えるが改変はしないのか。令和6年度以降の計画が示されていないが、今年度の計画について示さないのか。
- ④タブレット端末を活用する中で、児童・生徒の学習履歴（ログ）は現状蓄積できているのか。

中央教育審議会は、2021 年に出した答申の中で「個別最適な学び」と「協働的な学び」を進めるよう求めている。そのために、「これまで以上に子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援すること」が必要だとされているが、習熟度・学習状況の共有、分析、分析に基づく新たな学習への利活用はできているのか。

⑤小学校から中学校への進学時は、小学校での学習内容をアーカイブ等で閲覧可能か。デジタル教育では過去の学習内容の蓄積を確認できる事もメリットと捉えるが、その点小・中学校の連携は各校に周知されているか。

⑥中学校進学後デジタル教科書やタブレット端末の活用機会が少なくなっていることにより習得したスキルを忘れてしまい、発展ではなく後退してしまうのではないかと懸念している。実際にある中学校の生徒や保護者へ調査したところ、(1)デジタル教科書は使っていない、(2)授業では家庭科技術と音楽でのみタブレットを使用、(3)数学は宿題でタブレットを使用しているがその他はほぼないとのことである。このことは教育委員会として認識はしているのか。その上でどのような見解があるのか。

⑦上記質問⑤について、教育委員会として利活用に向けた動きはどのようなことをしているのか。

⑧文部科学省は、2023 年 12 月に、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果を公開。これによると、教育委員会で独自に、教育情報セキュリティポリシーを策定している自治体は約半数にとどまり、さらに策定すらしていない自治体がいまだ約 15%もあることが明らかになったが、小平市は教育情報セキュリティポリシーを策定できているという認識でいいか。

⑨学校の Wi-Fi 環境について子どもたちが同時に使用した場合、Wi-Fi に接続できないなどの声があるが教育委員会の現在の認識は。また改善の必要性をどのように捉えているのか。

⑩タブレット端末の使用期限は 3～4 年という論もあるが、今後のタブレット端末の更新は小平市としてどのように対応予定なのか。

## 2 質問の理由及び趣旨

市立小・中学校における GIGA スクール構想による教育の調査を行い現状と課題と解決すべきアクションを明らかにする。



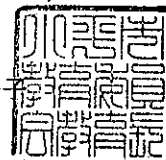
平教教指収第541号

令和6年7月11日

小平市議会議長 松岡 あつし 殿

小平市教育委員会

教育長 青木 由美



### 回答書

小平市議会基本条例第11条第1項の規定による鈴木洋一議員の文書質問について、次のとおり回答いたします。

- 1 ① 学習者用端末の持ち帰りは、全校で実施しております。
- ② 学校には学習者用端末の効果的な活用について指導・助言しており、宿題につきましても、児童・生徒の実態を踏まえ、各校で工夫して実施しているものと捉えております。
- ③ ドリルでの宿題や学習者用端末の持ち帰りにつきましては、各学校において適切に判断しております。児童・生徒及び保護者への説明につきましては、丁寧に行うべきであると認識しております。
- ④ 学習者用端末の必要数の配置及びアカウントの設定につきましては、小学校・中学校とも入学時まで完了しております。
- ⑤ サイトの閲覧制限につきましては、教育委員会において特定のURLの閲覧制限を実施しております。使用時間の制限につきましては、各校の実態に合わせたルールの作成や、家庭への協力依頼などにより対応しているものと認識しております。
- ⑥ 教育委員会の指示により、端末故障時の対応につきましては、学校から保護者に周知しております。また、端末を故意に破損した場合などは、保護者に弁償をさせていただいております。
- ⑦ 市では保険に加入しておりませんが、保護者には、持ち帰り時の端末等設定マニュアルの中で、保険について案内をしております。
- ⑧ 現在のところ、学習者用端末の付与は検討しておりませんが、今後、国や東京都の動向を注視してまいります。
- 2 ① 授業支援システムにつきましては、市立学校全校において利用しております。また、デジタル教材につきましても、活用している学校がございます。
- ② 令和6年5月末時点で、市立中学校1校において学習者用デジタル教科書の生徒用のアカウント登録が完了しておらず、生徒が使用できない状況にあったため、教育委員会が指導した学校がございました。なお、当該校につきましては、既に利用を開始したとの報告を受けております。その他の学校につきましては、4月から各学校において児童・生徒用

のアカウント登録を行い、使用を開始しているものと捉えております。

- ③ デジタル教科書は、紙媒体の教科用図書と同じく、小学校第5学年から中学校第3学年の児童・生徒に一部教科で無償提供されているものであり、年度当初に使用できる環境を整えるべきであると捉えております。
  - ④ 遅滞なく全ての市立学校が4月中にデジタル教科書の児童・生徒用アカウント登録を完了するよう、引き続き指導してまいります。
  - ⑤ 学校からのICTに関する相談につきましては、デジタル利活用支援員及び指導課教育ICT推進担当が対応する体制を整えております。また、情報教育推進委員会において、定期的に教員向け研修を行い、学習者用端末の活用スキルの向上を図っております。
  - ⑥ 現在のところ、必要な対応は図られているものと認識しております。
- 3
- ① 当該サービスは、学校の判断により導入しているデジタルコンテンツであるため、全ての市立学校で利用するものではありません。
  - ② 当該サービスは、学校の判断により導入しているため、詳細は把握しておりませんが、令和6年5月末時点で使用できていない状況にあった学校があったことは把握しております。
  - ③ 学校の判断により導入した教材につきましては、各学校において計画的に活用するものと捉えております。
- 4
- ①② オンライン授業は、市立学校全校で実施可能な状況であり、児童・生徒及び保護者のニーズに応じて実施しているものと認識しておりますので、教育の機会均等は図られているものと捉えております。
- 5
- ①②③ 現在、オンライン上で欠席連絡を行っている市立学校は24校ございますが、今後、導入を検討している学校から相談があった際は、フォームの作成支援等を行うなど、必要なサポートを行ってまいります。
- 6
- ① GIGAスクール構想の実現につきましては、教育委員会が学校を訪問した際に学習者用端末の活用状況を確認し、指導・助言をしております。現在は、数的な目標のみならず、効果的な活用に向けた質を重視し、授業改善を図っております。
  - ② 効果検証につきましては、授業観察や文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査における児童・生徒質問紙調査により、各学校のICT活用状況を把握しており、これらを踏まえ、情報教育推進委員会等でICTの効果的な活用を周知しております。
  - ③ 昨年度末に令和4年度に策定した小平市立学校における情報活用能力育成指針を改定し、各学校に周知の上、指針に沿った状況となるよう指導を行っております。
  - ④ 学習ログが蓄積できるデジタルドリルを、学校判断で導入している学校があることを認識しております。
  - ⑤ 小学校での学習内容は、中学校入学後も学習者用端末から閲覧することが可能であり、各学校にもその旨を周知しております。
  - ⑥ 学習者用端末は、活用場面や活用のねらいを明確にし、各教科の指導計画に効果的に位置付けて活用することで、児童・生徒の個別最適な学びや協働的な学びが促進されるもの

と認識しております。今後も、このことについて各学校に指導・助言してまいります。

- ⑦ 小平市立学校における情報活用能力育成指針を改定し、小・中学校で系統的に学習者用端末を活用した指導が行えるよう、各学校に周知しております。また、授業支援システムを試行導入し、個別最適な学びや協働的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に取り組んでおります。
- ⑧ 現在、学校向けのクラウドサービス使用時のルール等はございますが、教育情報セキュリティポリシーは策定しておりません。作成に向けて検討を進めております。
- ⑨ 通信環境の整備につきましては、これまでも通信速度の向上のために各種対策を行ってまいりました。今後も、学習者用端末の使用機会の増加が見込まれることから、引き続き通信環境の整備に努めてまいります。
- ⑩ 端末の使用期限につきましては、個々の使用状況等により異なるものと捉えております。また、端末の更新につきましては、現在、東京都が設置する共同調達会議に参加し、更新に向けて調整中であり、今後、具体的な仕様等について検討してまいります。